

令和7年度の教育活動等に対する学校評価書

令和8年2月16日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長 吉野 友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長 前林 隆宏

1 幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の本質に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の5項目を掲げる

1. 丈夫な体を持つ子どもに
2. 感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに
3. 豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに
4. 頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに
5. よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

2 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は、A (十分に成果があった)・B (成果があった)・C (少し成果があった)、D (成果がなかった) の段階で表すこと。)

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年やそれ以前を参考に学級の様子に合わせて細かく計画している。 ・子どもの興味・関心が深まる活動を適切にもっと取り入れたら更に良い。 ・家庭生活もあるので園だけでは難しい面もある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年少・年中・年長と園児の発達に合わせ、実によく計画されている。 ・全学年を「おもいで展」を通して見ると発達に即した取組がとても工夫されていると感じた。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く姿勢ができています。 ・行事では最後まで頑張る姿が育っている。 ・教育指針を意識した活動ができています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生とのやりとりから充分イメージできる。 ・1つひとつの活動に園がめざしているイメージを感じとれる。 ・先生のお話を聞く姿がすばらしい。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数が少ないので、細かく観察できる。 ・良い点を他の職員とも共有して認めたり・褒めたりできている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物から感じられる。 ・先生が園児の表情や姿をよく見て指導していることが伝わってくる。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができています。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・合同保育の実践で、子どもの新たな面・意外な面を知ることができ、遊びの幅が広がり、レパートリーも増えた。 ・遊びはもっと研究が必要だと思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持たせる遊びをよく考えている。 ・個人の作品でも周囲の友だちと協力する姿が見られる。 ・新しい遊びの工夫は永遠のテーマです。

<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れの定着だけでなく、大型絵本を利用し、細かく繰り返しの積み重ねで育っている。 ・家庭生活の影響が大きいものについては難しさがある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の様子から生活習慣が定着しているのがわかる。 ・発達段階が考えられ、3年間で身に付けさせようとしている
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が年に1回以上公開保育を参観し、研修する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・他園・自園の先生方の見学は新たな発見もあり参考になることが多い。 ・研究保育だけでなく、日常の生活でも良い点を評価されるとより前向きになれる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・見回ったり、メモを取ったり先生が熱心に研修しているのがよくわかる。 ・先生のいない教室が静かに自習しているのには驚きました。
<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートの良さもあるが、実際に見る方が良い。伝わり方が違う。 ・報告会や資料提供で共通理解ができ深まる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・参加研修ができています。 ・リモートでは熱量は感じとれない。参加が望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数なのでよく観察できる。保護者とも話す機会が多くなった。 ・仲良し保育で他学年の様子も知ることができるのは上野の強み。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観で、園児への目配りがよくできていると感じる。少人数ならではのと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の協力的な指導ができています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の仲が良いので、様々な相談ができ、アドバイスもいただける。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・よく連携がとれている。 ・運動会は先生方の協力が素晴らしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の実情や要望による預かり保育ができています。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多い。感謝の声も耳にする。 ・預かり保育に焦点をあてた共通理解も必要。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の負担が心配になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの活用がうまくいっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムが好評。 ・お便りが充実している。 ・情報の共有ができています。

<p>・季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none">・自然や園児数の変化に対応した工夫がされていて、充実している。・園と保護者で思いを共有できている。	<p>A</p>	<p>・季節の行事をはじめ、様々な工夫がされ、園を取り巻く環境がすばらしい。</p>
---	----------	--	----------	--